

# 迎春

## 年頭のごあいさつ

### 変化のエネルギーを有効な政策に結びます



長 誠  
町 居  
居 田  
寄 島

明けましておめでとうござい

ます。皆様には、健やかに、辰年の新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から、町政に対し、温かいご支援、ご協力を賜っていることに対しましてお礼申し上げます。

さて、昨年は何と云っても、東日本大震災による復旧・復興、そして、今なお続く被災による様々な影響への国をあげての対処に、大きな関心が寄せられた年でありました。

また、自然災害は日本だけでなく、世界では、トルコでの地震、タイやヨーロッパでの大洪水等々が発生し、社会経済の動向としては、ギリシャの債務危機に端を発する欧州経済の不安やTPPという新たな貿易体制樹立の進展等、世界各地での出来事が、様々な形で日本に影響を及ぼし、その対応

が厳しく問われた年でもありました。

私は昨年の11月、被災地である岩手県三陸海岸の町、牡蠣の養殖で有名な山田町へお見舞いとともに、現地の様子をうかがってまいりました。

山田町長さんのお話では、「壊滅した湾岸低地の整地、漁業、漁港の復旧は目途が立ち、高台への移転を含めた復興計画もできたが、長期的な雇用がなく、住民の安定した生計の確立がないため、被災住民の多くが町を離れている状況がある」とのことでした。

私はこのことから日本の復興は、震災以前から問われていた経済の停滞を打破するための構造改革を推進しつつ、新たな時代への成長戦略を国全体として展開することなくして、ありえないと痛感した次第です。

日本全体が新たな成長戦略を生み出し、実質的な経済成長を果たしていく中で、被災地の着実な復興が推進されるのではないでしょう

か。このように国内外の諸情勢は、その影響も含め次々と変化しております。埼玉県、そして寄居町においても例外ではありません。今年、は、第5次寄居町総合振興

計画後期基本計画が動き出す年となります。後期基本計画は、平成24年度からの5年間の成長戦略を記した計画となっております。

（一）人口減少を食い止め、人口を増やす「定住の促進」、（二）心と身体の健康づくり「介護・医療・福祉連携」、（三）ひかり輝く、観光・ブランドタウンの実現「観光再生」、（四）寄居町が描くエコタウンな暮らし「より・E エコタウン」を4つのテーマに掲げ、様々な行政課題に応えるべく、重点的・分野横断的な施策・事業展開を行っていく内容としました。また、その実現には、I・町民と協働して多彩なマンパワーを新たな社会サービスとして還元する仕組みづくり、II、地域ごとの個性が花開く特色ある地域プロジェクトと連動させて進めるものであります。

これらは計画的に進められるとともに、諸情勢の変化をしっかりと見極め、時には柔軟な対応の中で、寄居町の発展のために時宜を得た政策として推進する所存です。

結びにあたり、輝かしい新年が、町並びに町民の皆様にとり、夢と希望に満ちた素晴らしい1年になりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

### 町の発展のため、誠心誠意努めます



長 治  
議 会 議 長  
寄 居 町 議 会  
坂 本 建 治

平成24年の年頭に当たり、寄居町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、健やかな新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

私は、昨年5月の臨時議会において、改選後の新たな議員構成の中で、議員各位のご推挙により、第50代の寄居町議会議長に就任させていただきました。その職責の重大さを痛感しつつ、公平公正な議会運営を目指して、誠心誠意努めてまいりました。新年を迎えるに当たり、町民の皆様と議員各位のご指導とご協力に対して、あらためて感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は3月11日に発生した日本国内観測史上最大の地震と大津波により東日本太平洋沿岸に

甚大な被害をもたらし、死者、行方不明者は2万人以上となり、日本国内における戦後最悪の自然災害となりました。

また、地震と津波被害の影響により、福島第一原子力発電所で深刻な原子力事故が発生しました。秋には、台風による被害も日本列島全体におよび、自然災害の恐ろしさを痛感させられた年でありました。

回復の兆しが見えつつあった国内経済も、大きな影響を受けたと思われ、国難ともいわれる未曾有の大災害の復旧復興に向けて、国民全体が力を合わせて取り組むことが必要ではないかと思われ

ます。そうした中で、寄居町においては、4月にホンダ寄居工場の建屋内の工事が、平成25年の稼働開始に向けて再開され、6月には彩の国資源循環工場第二期事業の起工式が行われました。順調な進捗を期待するところであります。

また、8月には、平成25年の秋に第37回全国育樹祭が本県で開催されることと決定され、皇太子ご夫妻が金尾山の檜のお手入れに来

町することとなりました。本県で開催するのは初めてであり、町にとっても名誉なことであり、議会としても、全面的に支援をしたいと思います。

今年、は、寄居町第5次総合振興計画基本構想・後期基本計画のスタートの年であり、前期5年間の成果を踏まえ、見直しを行った計画が定められますが、議会としての役割を十分認識し、諸施策的確なチェックと提言を行い、町民の皆様への負託に応えるとともに、町の発展のために全力を尽くしてまいります。

今後、急速に進む少子高齢化社会の中で、身近な町政に対する町民の皆様様の様々な要望や期待は、ますます高まってまいります。議会としても、さらなる改革に取り組み、町民ニーズに対応してまいります。町民の皆様には、引き続き議会に対するご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに当たり、輝かしい新年が町民の皆様にとりまして、夢と希望に満ち溢れた素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。